

茅ヶ崎セントラルクリニック 森川 元気(臨床工学技士/主任)

功 績 7月の落雷により停電が発生した状況でも、茅ヶ崎セントラルクリニックに駆け付けて機械の不具合が無いか調査して問題無い事を確認し、次の日の透析をスムーズに行えた。また、月曜日に必ず起きていた水漏れが、日曜日夜の泊まり込みによって配管からの水漏れだと判明し解消できた功績。

推 薦 者 松本 正

推 薦 理 由 私は建物の老朽化による天井からの雨漏りだと決めつけていましたが、違和感を抱いて泊まり込みをして真相を突き止めた事は真に理事長賞に値すると思ひ、推薦いたします。

内 容

7月11日の夜11時23分頃に雷の音が激しくなり、南の海上へ落雷による光のシャワーが降り注いでいました。そんな時に、家の明かりが全て消え暗闇となりました。雷による停電が発生しました。茅ヶ崎市内で3000戸が停電し、最長で12日の午前2時半まで停電しておりました。茅ヶ崎セントラルクリニックは幸いにもすぐに復旧しましたが、セコムが作動した為、森川主任が駆けつけてリセット作業を行いました。その後、クリニック内のコンソールが誤作動していないか1台1台見て回り、電子カルテなどの動作確認も行って、すべて無事であることを確認してから帰宅しました。

また、日曜日に雨が降るといつも、月曜朝にRO水製造装置の周りに水たまりができていました。機械室の屋根にはひび割れが出来ており、そのせいで強雨が降った時には雨漏りがするのだと思っていましたが、森川主任はじめ技士達は何か水たまりの出来様に違和感を感じていました。そこで日曜の夜から月曜朝方にかけて森川主任が泊まり込みしました。その結果、RO水製造装置の上にある配管から水が漏れている事が明らかになりました。日曜日に行う自動メンテナンスの仕組みが一部変わったことで、今まで圧力がかかっていない配管に圧力がかかり水漏れが起きていました。間の悪い事にメーカーがメンテナンスを行った3月に配管の継ぎ目を緩めており、その後締め忘れていたのです。

下手をすればRO水製造装置に水がかかり、装置が故障していたかもしれません。水の製造が出来なくなれば透析は行えず、クリニックが大打撃を被る事を未然に防ぎました。